

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 5月 12日

事業所名 ここなくらぶ岸和田

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%		
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	0%	100%		活動スペースが2階にあるため、移動時には細心の注意が必要になる。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%		朝礼・終礼を行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%		日々の送迎、及び連絡帳等で保護者の方との時間を作っている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%		ホームページで公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	100%	0%		事業所内において、内部監査を実施している。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	0%	100%		コロナ前までは行っていたが、ここ数年、研修等は行っていない。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%		半年に一度または状況に応じて懇談を行い、保護者の方のニーズ等を伺い作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%		月に数回のイベントの内容をスタッフ全員で決めている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%		毎月同じイベントにならないように工夫している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%		毎日、朝礼を行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%		毎日、終礼を行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%		業務日報に記録をとっている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%		毎月月初めにモニタリングを作成している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	100%	0%		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	0%	0%	保護者経由でのやり取りをするよう言われており、学校迎え時に様子を聞く程度。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0%	0%	医療的ケアが必要な児童は現在利用していない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	0%	0%	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	0%	0%	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	0%	100%	相談支援事業所とは連絡を取り連携している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0%	100%	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0%	100%	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	送迎等、日々保護者の方と話す機会をもうけている。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	0%	100%	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	見学时、契約時、説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	日々の送迎時、保護者の方との話す機会を設け、都度対応している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0%	100%	コロナ渦のため中断していた。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	可能な限り当日中に解決しているが、相談の内容により事業所だけでなく、各関係機関へも連絡をとり対応している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	毎月おたよりを発行している。
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	カギ付き書庫に保管している。写真等の取り扱いも契約時確認している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0%	100%	事業所が小さいので現実的ではない。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	定期的に避難訓練を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	年2回の定期的な研修及び毎月、虐待等に関せするテストを行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%	身体拘束の大定義は全員に周知されているが、それらの事由に至ることがない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	契約時、聞きとりを行っている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	日報等に記載している。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 5年 5月 12日

事業所名 ここなくらぶ岸和田

保護者等数(児童数) 16(14)

回収数 11

割合

87%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	73%	18%	0%	9%	・広々としていると思います。	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	82%	0%	0%	18%	・どの方にお話してもきちんと答えていただけてます。	
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	55%	18%	0%	27%	・あまり事業所内を見たことがないので。	
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	100%	0%	0%	0%	・こちらの要望を適切にまとめて頂いていると思います。	
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	100%	0%	0%	0%	・外出や室内で様々取り入れてくださっています。 ・イベントなどもあり、子供もたのしみしています。	
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	36%	0%	27%	36%	・この件の内容は聞いた事がありません。	
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100%	0%	0%	0%	・丁寧に説明して頂きました。	
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	100%	0%	0%	0%	・送迎時、連絡帳で色々聞かせていただけています。	
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	100%	0%	0%	0%	・定期的に、またこちらの希望時にさせていただきます。	
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	27%	0%	45%	27%		
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	73%	9%	0%	18%	・苦情はありませんが、こちらがお願いしたことには対応していただけています。	
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	100%	0%	0%	0%	・送迎時や連絡帳、電話、対面にてこちらの希望をきいていただけています。	
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	100%	0%	0%	0%	・毎日デイでの様子の写真をプリントでの報告ありがとうございます。 ・毎月のおたより、HPで見せて頂いています。	
14 個人情報に十分注意しているか	100%	0%	0%	0%			
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	73%	9%	9%	9%		
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	55%	0%	9%	36%		
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	82%	18%	0%	0%	・様々な制作を楽しみに通所させていただいております。 ・お友達との関係によって行き渋ることがありますが、ここから心なほは好きになってきています。	
	18 事業所の支援に満足しているか	91%	9%	0%	0%	・いつも色々良くしていただけて大満足しています。	

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 5月 12日

事業所名 ここなくらぶ岸和田

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%		
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%		
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	0%	100%		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%	0%		日々の清掃を行った上で状況に応じて環境の見直しを行っている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%		朝礼・終礼を行っている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%		日々の送迎、及び連絡帳等で保護者の方との時間を作っている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%		ホームページで公開している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	100%	0%		事業所内において、内部監査を実施している。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	0%	100%		コロナ前までは行っていたが、ここ数年、研修等は行っていない。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%	0%		半年に一度または状況に応じて懇談を行い、保護者の方のニーズ等を伺い作成している。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%	0%		半年に一度または状況に応じて懇談を行い、保護者の方のニーズ等を伺い作成している。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%		月に数回のイベントの内容をスタッフ間で決めている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%		毎月同じイベントにならないように工夫している。
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	100%	0%			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%		毎日、朝礼を行っている。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%		毎日、終礼を行っている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%		業務日報に記録をとっている。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%		毎月月初めにモニタリングを作成している。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	100%	0%		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0%	0%		医療的ケアが必要な児童は現在利用していない。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0%	0%		医療的ケアが必要な児童は現在利用していない。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	0%	0%		直接、保育所等と連絡を取ることができない状態
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	0%	0%		直接、学校等と連絡を取ることができない状態
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	0%	100%		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0%	100%		望まない保護者が多い。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0%	100%		相談支援事業所の方とは連絡を取り合っている。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%		送迎等、日々保護者の方と話す機会をもうけている。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	100%	0%		
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%		見学时、契約時、説明を行っている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%	0%		個別支援計画作成後、口頭で説明し、同意を得ている。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%		日々の送迎時、保護者の方との話す機会を設け、都度対応している。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0%	100%		
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%		可能な限り当日中に解決しているが、相談の内容により各関係機関に連絡を入れ、相談することもある。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%		毎月おたよりを発行している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	100%	0%		カギ付き書庫に保管している。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0%	100%		小さな事業所なので、現実的ではない。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	100%	0%		
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%		定期的に避難訓練を行っている。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	100%	0%		契約時、聞きとりを行っている。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	0%	0%		重篤なアレルギー対応に児童がいないため、保護者からの聞き取りをおこなっている
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%		日報等に記載している。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%		定期開催以外に、毎月テストを行っている。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	100%	0%		身体拘束の大原則は全員理解しているが、それらに至ることがない

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。